News Release
一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport
〒100-0013
東京都千代田区霞が関３丁目３番３号
全日通霞が関ビル５階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

令和 7 年 5 月 21 日

「第 3 回 障がい者活躍推進ワーキングチーム」会合を開催
～ 事業者への個別ヒアリング調査の経過報告を行いました ～

（一社）日本物流団体連合会（略称：物流連）は、5 月 16 日(金)、東京都千代田区の全日通霞が関ビルにおいて、「第 3 回 障がい者活躍推進ワーキングチーム(座長：東京女子大学二村真理子教授)」会合を開催しました。

同ワーキングチームは、物流業界の人材不足等の課題解決へ向けたダイバーシティ推進の一環として、また企業の社会的責任(CSR)を果たすうえでも今後ますます障がい者の活躍の推進が望まれることから、物流業界における障がい者雇用の現状と課題を調査し、障がい者の活躍推進についての対応策等を検討する目的で、昨年 9 月に物流連の経営効率化委員会のもとに設置されたもので、物流連会員企業・団体から 16 名がワーキングチーム委員として参加しています。

3 回目となる今回の会合では、オンラインを含めて 23 名が参加し、事務局で本年 3 月から実施している、障がい者の活躍推進へ向けた先進的な取り組みを行っている会員企業 5 社への個別ヒアリング調査について、その経過報告として 3 社の調査結果を共有し、意見交換を行いました。

会合では、対象企業それぞれの障がい者雇用の方針や従事する業務内容の違い、また障がい者に期待する役割の違い等が一覧で示され、それをもとに出席した委員全員で、各社が抱えている課題や今後の障がい者活躍推進に向けたヒントとなり得る取り組みなどについて率直な意見交換が行われ、大変活気のあるものとなりました。

今後は、第 4 回会合を 6 月 25 日(水)に二部制で開催し、第一部の講演会で他業界における障がい者活躍推進の現状や先進的取り組み事例等をテーマとした講演を、第二部の会合でヒアリング対象企業残り 2 社の調査結果を共有して改めて委員メンバーで意見交換を行い、本年 9 月に発行を予定している物流業界における障がい者活躍推進の検討についての最終報告書の内容をとりまとめていきます。

物流連では今後もさまざまな活動を通じ、ダイバーシティや CSR 推進の取り組みを進めていきます。

以　上

事務局　中野

座長　二村真理子教授

全体風景